

船舶事故調査報告書

平成30年3月28日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 佐藤 雄二（部会長）

委員 田村 兼吉

委員 岡本 満喜子

事故種類	乗組員行方不明
発生日時	不明（平成29年2月19日 16時30分ごろ～17時01分ごろの間）
発生場所	不明（新潟県佐渡市姫埼北方沖）
事故の概要	漁船 ^{だいじん} 大神丸は、船長が落水して行方不明となった。
事故調査の経過	平成29年2月22日、本事故の調査を担当する主管調査官（仙台事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者からの意見聴取は、本人が行方不明のため、行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 大神丸、9.1トン NG2-1817（漁船登録番号）、個人所有 11.97m (Lr) × 3.78m × 1.20m、FRP ディーゼル機関、102.9kW、昭和60年5月5日 第220-11892号（船舶検査済票の番号）
乗組員等に関する情報	船長 男性 48歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 平成26年6月12日 免許証交付日 平成26年6月12日 (平成31年6月11日まで有効)
死傷者等	行方不明 1人（船長）
損傷	なし
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 南西、風力 3 海象：波向 北西、波高 約1m、水温 約10℃
事故の経過	本船は、姫埼北方沖の漁場でかれい刺し網漁を行う目的で、平成29年2月19日13時46分ごろ電話で知人にこれから出港する旨を告げた後、船長（以下「本船船長」という。）が1人で乗り組み、佐渡市大川漁港を出港した。 僚船の船長（以下「船長A」という。）は、16時30分ごろ無線でこれから帰る旨の通信を行ったところ、本船船長から、今、網を入れている旨の応答を聞いた。 別の僚船の船長（以下「船長B」という。）は、大川漁港への帰航中、無線での呼び掛けに本船船長の応答がなかったので、17時01

	<p>ら、この間において、本船船長が落水したものと考えられる。</p> <p>本船船長は、本船が発見された際、主機が微速力前進にかけられ、後部甲板の右舷側から海中の刺し網に繋がれたロープが出ている状態であったことから、刺し網の投網作業中であった可能性があると考えられるが、落水に至った状況を明らかにすることはできなかった。</p>
原因	<p>本事故は、本船が操業中、本船船長が落水したことにより発生したものと考えられる。</p>
参考	<p>今後の同種事故等の再発防止及び被害の軽減に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小型船舶の乗船者は、救命胴衣を適切に着用すること。 ・ 海中に送り出す漁具には、できるだけ身体を触れたり、^{また}跨いだりしないこと。 ・ 防水措置を施した携帯電話を常に身に付け、落水した際の連絡手段を確保することが望ましい。

付図1 事故発生場所概略図

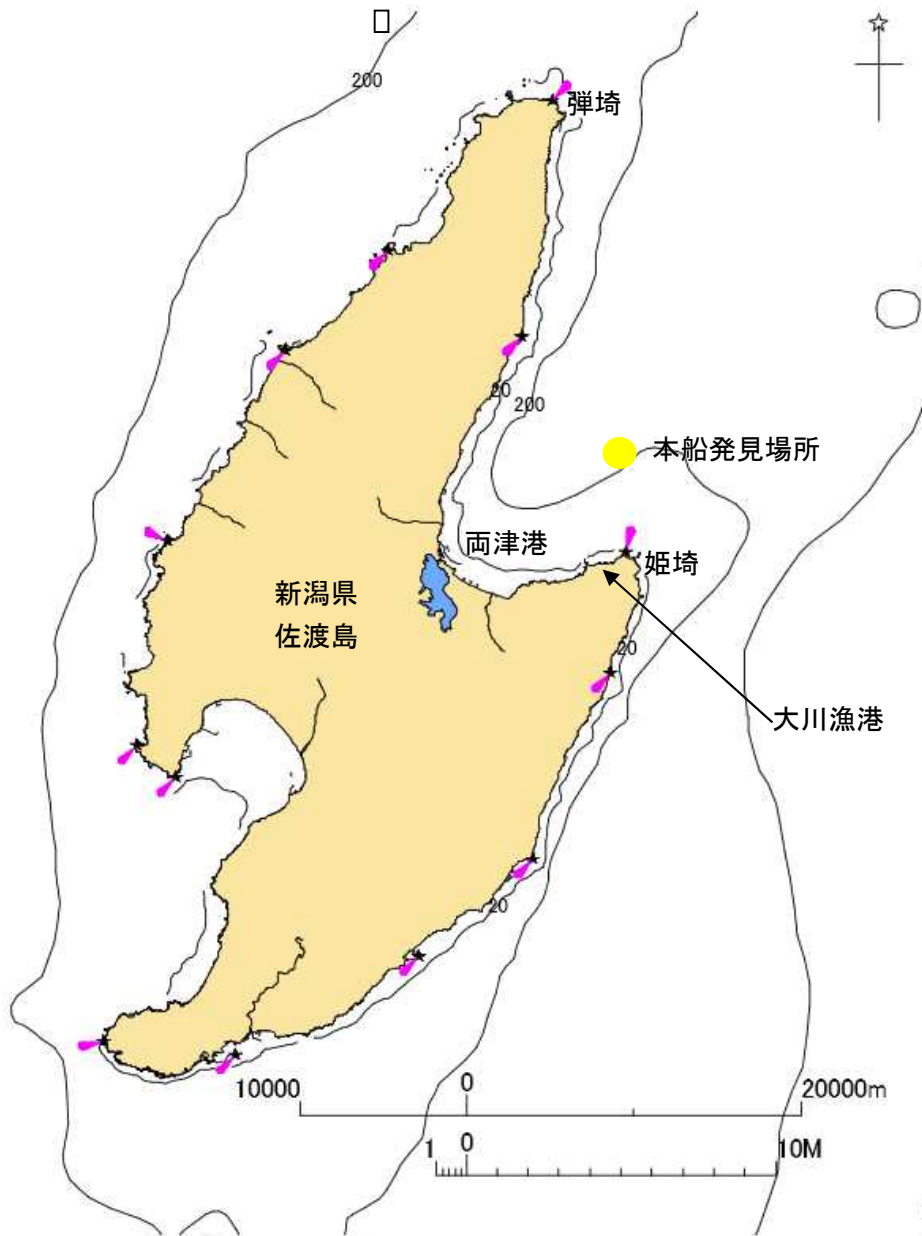


写真1 本船

